



① 患者の話を丁寧に聞きながら、一人ひとりに合わせた診療を行う ② 広い待合室には、絵本も設置。子連れでも安心だ ③ 医療レーザー脱毛などの美容皮膚科も実施



## 駅直結で夜20時まで診療 子どもから働き盛りまで通いやすく

一般皮膚科、形成外科、美容皮膚科まで幅広く診療している『駒沢皮膚科クリニック』。患者に苦痛などを伴わない最善の治療を提供している。水いぼの治療の際には麻酔テープを使用し、子どもでも安心して治療を受けられるという。

### 駒沢皮膚科クリニック 皮膚科／形成外科／美容皮膚科

清水 顕 院長  
Akira shimizu



#### Profile

1993年山梨医科大学（現・山梨大学）卒業。大学所属時から皮膚がんの研究や治療に携わる。大学病院勤務後1996年がん研究所生化学部所属。1998年スウェーデンのルードヴィックがん研究所研究員。その後山梨医科大学の皮膚科医局長として勤務後、2003年11月開院。がん発生のメカニズムを研究し、その成果は新薬にも応用されている。皮膚科とつながりの深い形成外科にも詳しい。日本皮膚科学会認定皮膚科専門医。日本臨床皮膚科医会、日本アレルギー学会、日本美容皮膚科学会所属。

「皮膚科では外科的な処置や手術などが必要となる 경우가少なくありません。当院では手術に長けた形成外科の認定医を置き、安心安全な手術も行っていきます」  
駅直結でアクセスが良く、平日も20時まで診療している同院。働き盛りの大人も通いやすいと評判

だ。院内処方も扱っているため、痛み止めなど、薬局へ行かずに同院で受けることが可能だ。子供の治療だけでなく大人の治療にも配慮した院長の姿勢がうかがえる。  
また、薬の適切な処方にも力を入れている。診断を正しく行い、できるだけ早く病気を治せるよう薬を調整しているのだ。  
「子どものとびひやアトピー性皮膚炎などと合わない薬を長期間使用していると、症状が悪化したり

長引くことがあります。患者さんの生活習慣、環境などにも留意しながら身体の負担にならない適切な薬の処方を心がけています」  
清水院長は開院前にがん発生のメカニズムを研究していたこともある。体の不調があったときにまず相談する近くのクリニックで見落としてしまうと、病気の発見がさらに遅れてしまうことを懸念。  
「今までの知識を踏まえて、大きな病気も早期発見したいですね」

#### DATA



Tel 03-3413-6600  
所在地 世田谷区上馬3-18-11  
エルフレア駒沢3F  
駐車場 無  
休診日 木／日／祝  
Map P000 X-0 Link P000、P000

	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:30～12:00	●	●	●	—	●	●	—	—
15:00～20:00	●	●	●	—	●	○	—	—

※○14:00～17:00

さらに詳しく



#### しみや肝斑への直接的なアプローチ 皮膚科で安心安全な治療を

今まで内服薬や外用薬によって行われてきたしみや肝斑（かんぱん）の治療。しかし、これらは直接的な治療ではないため効果を感じにくいこともあった。そこで注目されているのがIPLという光を照射する機器を用いたアプローチだ。しみや肝斑に直接働きかけることができ、かつ、身体的な負担も少ないといわれている。同院では先端のフォトフェイシャル機器を使用し、医師のもとで、レーザー治療とは異なる、体に負担の少ない施術が受けられる。